

素材の開発から出発して
製品化を行う



創業者
佐藤 彦八

太陽誘電の創業者・佐藤彦八は、戦前からセラミック素材の研究に取り組んでいました。「素材の開発から出発して製品化を行う」という技術屋としての信条をもち、酸化チタン磁器コンデンサの開発・製品化に取り組み、1950年に太陽誘電株式会社を創業しました。

また彼には、人間にとって一番価値のあるものは人間の愛情であるという、人としての信条がありました。従業員とその家族が幸福に豊かな生活ができるようにすることで企業の社会性が高まり、文化の発展に貢献できるとし、3つの経営理念を掲げました。

創業者のこの信条・理念は、今も太陽誘電グループの根本精神として生き続けています。



チタン酸バリウム磁器コンデンサ「ルチルコン」

ミッション
おもしろ科学で
より大きく より社会的に

経営理念
従業員の幸福
地域社会への貢献
株主に対する配当責任

ビジョン
すべてのステークホルダーから信頼され
感動を与えるエクセレントカンパニーへ

